

特定非営利活動法人 日本冠疾患学会会員 各位

この度 3 月 11 日に発生しました東北関東大震災から早くも 10 日以上が経とうとしております。被災地の皆様の限りなく大きな御苦勞に対して衷心よりお見舞い申し上げます。

この間、被災地に於ける医療面の困窮状況は計り知れません。救急救命医療が必要な方々のみならず被災者の皆様の中にはこれまで日常的に必要な医療が受けられない方々が相当数いらっしゃいます。

各種報道からの情報ではありますが、孤立した地域で孤軍奮闘される医療従事者の方々の疲労困憊の御様子は察するに余りあります。また、適切な医療の提供がままならず災害関連死に至る方も出始め、これからその数は更に増加すると懸念されます。

大震災発生直後から循環器領域に於いては日本循環器学会、日本心臓病学会がいち早く学会としての活動を開始し、外科系学会である日本胸部外科学会、日本心臓血管外科学会も活動を開始しました。これを受けて、本学会もなんらかの活動を開始すべきではないかとの御意見も賜りましたが、学会がそれぞれ個別に活動することには様々な考えがあり、また有効な支援を行うにもその具体的な実現方法には限界があると考え、本学会としては循環器領域の内科系・外科系主要学会との協調を第一に対応して参りたいと考えます。

日本冠疾患学会と致しましては、被災地に於いて日夜過酷な状況の中で診療に奮闘されている学会員の先生方に心から敬意を表し、応援の意を表明したいと思います。

2011 年 3 月 22 日

特定非営利活動法人 日本冠疾患学会
理事長 落 雅美
副理事長 平山 篤志

《参考資料》

日本循環器学会 東北関東大震災支援循環器ネットワーク 受入可能施設情報

http://www.j-circ.or.jp/shinsaitaisaku/ec_all_20110321.pdf

日本胸部外科学会 胸部外科手術支援可能施設リスト

<http://www.jpats.org/modules/bulletin01/index.php?page=article&storyid=45>

※緊急のお知らせ [支援可能施設リスト](#) (*3月18日10時時点の回答を集約※随時更新されます※) からアクセスしてください。